**第 4回実務委員会**

* **概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 2004-01-12 ~ 2004-01-15 |
| 開催地 | 中華人民共和国 > 黒龍江省、龍江省ハルビン市国際コンベンションセンタ |
| 開催者 | 中華人民共和国 > 黒龍江省 |
| 参加 | 4カ24自治67人 |
| 中華人民共和国 | 黒龍江省、山東省、河南省、寧夏回族自治区  |
| 日本国 | 青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、兵庫県、鳥取県、島根県  |
| 大韓民国 | 釜山広域市, 江原道, 忠清北道 , 忠清南道 , 全羅北道, 全羅南道, 慶尚北道, 慶尚南道  |
| ロシア連邦 | ハバロフスク地方, カムチャツカ地方, ザバイカリエ地方 |

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| **▷常設事務局設置に関する論議** |
|  |
| **▷会員団体資格再確認に関する論議** |
|  |
|

|  |
| --- |
| **▷連合マーク制定方案▷各会員団体の分科委員会活動結果報告▷会員団体間の人材交流方案****▷経済、貿易、環境保護などに関する交流および協力強化方案** |

 |
|  |

 |

* **合意文**

2004年1月13日、中華人民共和国黒竜江省ハルビン市にて開催された、北東アジア自治団体連合第四次実務委員会に、 中華人民共和国、日本国、大韓民国、ロシア連邦の24連合会員団体より派遣された代表が会議に参加した。

この会議で会員各代表は、北東アジア自治団体間の交流と協力の強化を謳った主題で、平等・友好・互恵の原則に基づき、 共同の関心である経済、貿易、環境保護および連合常設事務局設置などの議題に対して、討論が行われた。 各問題について認識を共にした。各分科委員会コーディネーター団体の代表は、会議で各分科委員会活動状況を報告した。

同時に2002年9月ロシアハバロフスクにて開催された北東アジア自治団体連合第四次総会の決意精神に基づいて、 中国黒竜江省、日本国兵庫県・富山県、大韓民国慶尚北道・釜山広域市、ロシア連邦ハバロフスク州など6自治団体の代表が 2004年1月12日に中国黒竜江省ハルビンに集まった。そこで、常設事務局設置に関した専門委員会会議を開催し、 6会員団体の代表が連合常設事務局の設置・機能・任期などについて討論が行われた。 　現在、第四次実務委員会会議討論事項および議決一致事項に対する合意事項は以下の通りである。

Ⅰ. 常設事務局設置に関する問題

連合事務局は、第四次実務委員会会議にて、常設事務局に関する専門委員会討論結果を報告した。 韓国の慶尚北道からは、会議で常設事務局を慶尚北道に設置すべきであるという提案書が提出された。

日本国兵庫県からは、連合常設事務局を設置すべきであるという前提で、常設事務局の機能・任期などの提案がされた。 また、４年任期制であるが、任期満了時、連合総会で次期常設事務局の会員団体を選出し、再任も可能であるという提案がなされた。

韓国慶尚北道からは、任期制導入に同意すると同時に、6年任期制が提案された。] 各会員団体の代表によって、以上２地域の提案に対し討論が行われた。

常設事務局の機能・任期・設置時点に対しては、まだ合意がなされていないが、除雪事務局の機能は、 韓国慶尚北道・日本兵庫県の提案を基本とする。２団体の意見を受け入れ、 現在事務局が常設事務局の機能に対する建議案を各会員団体の意見を総合し、 結果を９月に開催される第五次総会で討論を行うこととした。

Ⅱ. 連合自治団体会員認定条項に関する問題

兵庫県の代表からは、連合会員自治団体の認定方式を説明があった。 連合憲章を根拠により、連合総会に参加した北東アジア地域内の地方政府、即ち連合会員を会員団体としてみなす。 しかし、各国の状況が異なることから、個別団体の名称に多少の差はあるが、会員団体にこの問題に対する同意が求められた。

Ⅲ. 連合旗制定に関する問題

日本国富山県と中国黒竜江省からは、共同で会議にて連合旗制定に対する意見が提案された。 富山県と黒竜江省の代表からは、提案した趣旨に対して説明が行われた。 会員代表によって、この提案に対する討論が行われた。 表決によって連合旗制定に関する提案が通過した。 今後、この提案を９月の第五次総会に上程し総会で決定する。

Ⅳ. 分科委員会活動報告

各分科委員会コーディネーター団体からは、本会議で分科委員会活動状況に対する報告が行われた。

1 環境分科委員会

日本国富山県からは、連合環境分科委員会のコーディネーター団体として、2003年10月に富山県で開催された、 第五次環境分科委員会結果が報告された。この会議では日本、中国、モンゴル、韓国など、４カ国14団体が参加した。 富山県はこの会議で再度次期環境分科委員会コーディネーター団体に当選し、任期は2005年7月までに延長された。 同時に環境分科委員会主要活動内容が紹介された。

 (1) 環境政策と関連した交流情報(参加団体：日本、ロシア自治団体)

(2) 北東アジア地域国際環境セミナー(参加団体：日本、中国、韓国、ロシア自治団体)

(3) 日本海、黄海沿岸の浮遊物質関連調査実地 (参加団体：日本、中国、韓国、ロシア自治団体)

(4) 北東アジア地域の渡り鳥に関する共同調査(参加団体：日本、中国、韓国、ロシア自治団体)

会員団体代表は、今後の活動方針と計画に対して討論を行った。 また、富山県からは、富山県内で発刊した2003年環日本海環境白書の内容について説明を加えた。

2 一般交流分科委員会

日本富山県からは、連合一般交流分科委員会のコーディネーター団体として、 2003年10月富山県において開催された、第五次一般交流分科委員会の状況が報告された。

 (1) 北東アジア女性会議開催

(2) 北東アジア地域児童、青少年相互交流の展開

3 防災専門委員会

日本の兵庫県からは、防災分科委員会のコーディネーター団体として 、会議において防災分科委員会活動現況が報告された

 (1) 防災対策体制および情報交流の意向として調査進行

(2) 阪神大震災の教訓と経験を伝える

(3) 2002年7月兵庫県で、中国、日本、韓国、ロシアなど国家の12自治団体代表が参加した。 防災分科委員会会議において、会議代表と防災と関連した情報の交換が行われた。 その席上で、今後行動方針および活動内容が提出された。

 (a) 北東アジア地域棒材情報の収集・発表

(b) 北東アジア地域各自治団体を主として研究団を受け付け、兵庫県および兵庫県が実施する防災対策に研修を行う。

4 済・通商分科委員会

韓国慶尚北道からは、経済通商分科委員会委コーディネーター団体として、 2002年、2003年二回開催した経済通商分科委員会会議状況が報告された。

 (1) 「北東アジア企業博覧会」開催第六次総会の開催と同時に 「北東アジア企業博覧会」を開催し、会員団体間の経済交流を強化することとした。

(2)「北東アジア電子貿易」共同ホームページを構築する建議 2003年9月、五カ国18会員団体が参加した経済通商分科委員会会議が開催された。 今回の会議では、民間企業間交流の強化を趣旨とした議題が提出された。

 (a) 連合会議民間が共に参与する投資促進委員会を構成し、 会員自治団体間の交流と協力を強化する。

(b) 北東アジア経済通商共同ホームページを通じ、 会員自治団体間の交流をいっそう具体化し、さらなる実質的な問題に対し討論を行った。

会議は各分科委員会コーディネーター自治団体が、各分科委員会活動で多くの実りある活動を行った。 各分科委員会にて開催された活動を通じ、連合会員間の交流と協力を拡大し、 連合の不断なる発展を促進するのに最適である。

Ⅴ. 連合会員間人材交流の強化に関する議題

会員代表は、連合会員地域間人材交流を強化するという認識に考えと共にした。　人材交流を展開することは、 北東アジア地域間、自治団体間の協力を有利にし、共同の発展と半円を促進させると考えられる。

Ⅵ. 連合各会員団体間の経済・貿易・環境保護などの分野の交流および協力に関する議題

経済・貿易、環境保護などの部門における交流と協力活動の展開に、本会議で最も話題となることとして、また連合が趣旨を再現した。 会議が多くの代表と北東アジア地域自治団体間の経済、貿易部門の交流および協力に、以下の通り意見が発表された。

1 日本富山県の代表は、北東アジア地域貿易および投資交流を強化するため、 件の日本海貿易交流センターを中心とした活動状況を展開した。

 (1) 北東アジア地域の貿易動向、投資環境など情報提供と収集

(2) 北東アジア地域の企業が参加する展示商談会開催

(3) 県内の企業が参加する北東アジア地域内で開催するサンプル展示・販売会支援

2 中国黒竜江省の代表からは会議で、「協力交流の拡大、共同繁栄の実現」という議題で報告された。 会員代表に黒龍江省の経済発展および投資関連に有利な条件が紹介された。 これと同時に、黒竜江省にて実施する中国東北部三省の老朽化工業基地を再振興させる戦略について重点的に紹介された。 黒龍江省の発展は、多くの機会をもたらすと同時に、外国投資家や企業家たちに無限のビジネス機会をもたらす。 北東アジア地域の各国経済界、企業家の積極的な参与により、共同発展できるよう希望する。

3 ロシアハバロフスク地域の代表からは、会議で変更地域の協力を強化することが発表された。 北東アジア自治団体連合の変更地域合作分科委員会を構成することが提案された。 また、この分科委員会がコーディネーター団体を申請し、本事務局は、 変更合作分科委員会設置の議題を9月の北東アジア自治団体連合第五次総会を開催に上程することとした。

4 韓国慶尚南道代表からは、会議の席で、会議代表に「2004韓国国際機会博覧会」に会員団体の招請が行われた。 連合会員地域内の企業が積極参与し、会員団体間の経済交流の強化を希望するという発表が行われた。

5 中国山東省代表は本会議で、山東半島での製造業基地の状況が紹介された。 また2004年5月2日～5月4日山東省威海市において、中小企業を中心に開催される「2004年第二次北東アジア経済論壇」と、2004年9月15日～9月17日「山東省建設高位論壇およびグリーン産業博覧会」に対して紹介があった。 同時に各会員自治団体によるい参加を希望すると発表があった。

6 韓国江原道の代表は各会議代表に、韓国の最南端から始まり、北朝鮮―中国―ロシア―ヨーロッパを横断する大陸横断鉄道を構築の提案がされた。 周辺都市の物流と観光産業のシナジー効果を派生し、各地域の経済発展を加速化させようという提案が出された。

7 韓国全羅北道の代表からは、2007年「世界物流博覧会」の開催状況が発表された。 連合各会員団体が共同で参与し、積極的に支援するよう要望が出された

8 韓国慶尚北道代表からは会議で、第六次連合総会開催と同時に、議長自治団体が「北東アジア企業博覧会」を開催しようという提案が出された。 これに日本の兵庫県と富山県は、まず第六次巡回事務局所在地を確定した後、再度この件について討論することが要望された。

 各会員代表と各会員団体は、今回の会議で提出された各項の活動方案について討論が行われた。 世界経済のグローバル化により各国と各地域の経済貿易関係が次第に密接になっている中、 北東アジア自治団体の経済・貿易、環境保護などの部門における交流と合作は、 北東アジア地域の反映と安定に寄与することであり、各地気の共同発展を促進するものである。

Ⅶ. 次期連合巡回事務局に関する問題

本会議にて、黒龍江省は今回の連合巡回事務局として、会員団体のうち次期連合巡回事務局候補地申請を受け、各自治団体の意見を確認した。大韓民国釜山広域市は、会議にて次期連合巡回事務局を維持することを申請した。 会議は本連合事務局が会議以後に連合各会員団体に意見を収束し、候補自治団体申請を受け、9月総会にて決定することとした。

Ⅷ. 北東アジア自治団体連合第五次総会開催

本連合事務局は、会議より各会員団体の招請を行った。 各会員団体首長が2004年9月中国黒竜江省ハルビン市にて開催される北東アジア自治団体連合第五次総会に山積することを希望する。 会議の準備過程で各会員団体の積極席な支援と協調を要望した。

以上、北東アジア自治団体連合第四次実務委員会会議の合意事項として、 本合意事項を中国語、日本語、韓国語、ロシア語に作成し、各会員団体に送付する。